

「未来を見た企業と過去にとらわれた企業で明暗分かれる」

〔概況〕

2020 年 7 月～9 月期の状況では緊急事態宣言が解除され、徐々に経済が動きを再開したことで全ての指標が改善しましたが依然として大きくマイナスの値を示しています。景況感 DI は、前回の▲59.4 から 22.5 ポイント改善し▲36.9 となりました。次期予想 DI は改善幅が小さく 7.5 ポイントの改善で▲14.5 となりました。

業種別の動向では、マイナス域が目立ちますがほとんどの業種で改善が見られました。サービス業（対事業所）では次期予想が好転してプラス域となっています。しかし製造業（生産財）と建設業（建築）では前回よりもさらに悪化しています。

経営上の問題点は、コロナウイルス拡大によって 2 期連続で上昇していた「民間需要の停滞」が今回の調査では減少しましたが、最も多い問題として挙げられました。人材に関する問題である「人材獲得難」「従業員不足」「熟練技術者の確保難」等が上昇しました。

特設項目では“人材獲得状況”と“福岡県のコロナ支援策”について調査しました。人材獲得状況についてはおよそ半数の企業が「適正」と回答しました。26%の企業が「今後の不足を懸念」と回答し、その理由の多くは「従業員の高齢化」や「求人活動ができない」という回答でした。他にも「天神ビッグバン」「福岡の建設需要」への期待が挙げられました。コロナに関する支援策で福岡県への要望として最も多く挙げたのは「継続的・迅速な支援」という回答でした。

経営指針書に関する設問では、前回調査よりも「作成し実践している」と回答した企業の割合が減少しました。しかし「作成する必要はない」と回答している企業のみ景況感がさらに悪化しました。コロナによる経営指針書の見直し調査では、半数以上の企業が「見直した」「見直す予定」と回答しています。また 2 割の企業が「今後作成を考えている」と回答しました。

景況分析会議では、コロナ禍においては自社の強みを見つめ直すことが重要という意見が挙がりました。人づくりによって機動力を上げ新常态に対応していかなければなりません。コロナにとらわれず経営戦略を立てることが今後の鍵となりそうです。

〔調査要領〕

調査時 2020 年 9 月 1 日～2020 年 9 月 30 日

対象企業 (一社) 福岡県中小企業家同友会 全会員企業 2,186 社 (9 月時点)

調査の方法 会員専用サイト (一部 FAX) にて配信、自計記入

〔回答企業の概要〕

回答数 298 社の回答 (回答率 13.6%)

(製造業 47 社、建設業 57 社、商業流通業 40 社、サービス業 153 社 不明 1 社)

企業規模 (従業員数)

0～10 名以下 150 社、11 名～20 名以下 55 社 21 名～50 名以下 55 社

51 名～100 名以下 19 社、100 名以上 18 社 不明 1 社

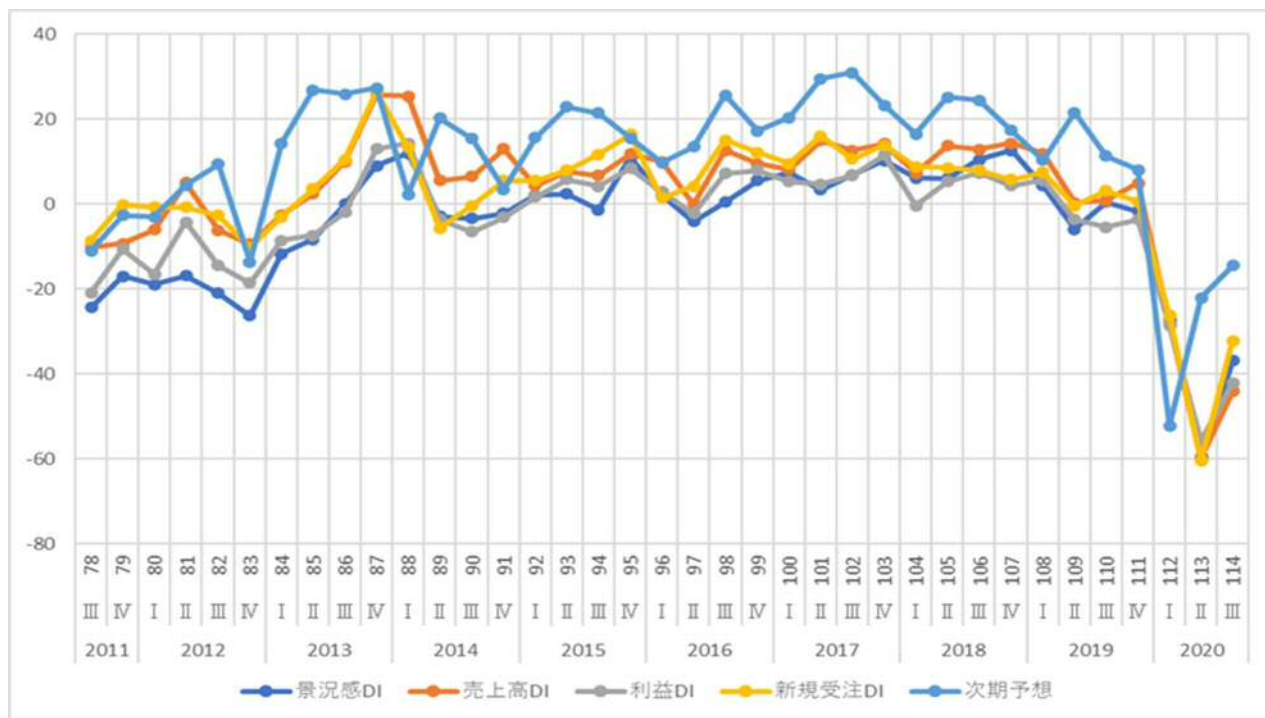
企業の所在地 福岡地区 189 社、北九州地区 44 社、筑豊地区 37 社、県南地区 22 社、
県外 5 社 不明 1 社

【全体的な特徴】

○ 全項目持ち直すもマイナス域！

緊急事態宣言が解除され、県内では感染が縮小傾向にあり各指標は改善されていますが依然としてマイナス域となっています。

項目	第113回	第114回	変動幅
景況感 DI	▲59.4	▲36.9	22.5
売上高 DI	▲59.9	▲44.1	15.8
利益 DI	▲55.8	▲42.0	13.8
新規受注 DI	▲60.5	▲32.2	28.3
次期予想 DI	▲22.0	▲14.5	7.5



<<会員企業の声（一部抜粋）>>

No.	5.今期景況判断	1.業種	3.本社所在地	9.そのような結果の理由
1	非常に良い	製造業（消費財）	福岡地区	コロナには免疫力アップ、自然治癒力を高める自然薯が良いと理解されて注文が増えている。
3	非常に良い	建設業（設備）	県南地区	この仕事（建築設備関係）は社会情勢等に左右されにくい業種だと思いますが、日頃から同友会での学びを生かし、お客様に必要な企業になれるように努力をしている結果だと思う。
11	よい	建設業（設備）	北九州地区	コロナ自粛から解放された為
14	よい	商業・流通業	福岡地区	コロナ禍での健康志向の高まりと自粛による EC の売り上げ増加
31	普通	建設業（土木）	福岡地区	コロナ感染で予定されていた工事が先行き不振で中止に成ったり、公共工事がコロナで延期に成っています。
45	普通	サ業（対事業所）	福岡地区	官受注が無し、民間の仕事のみと云う状況の為
89	悪い	製造業（消費財）	筑豊地区	半導体以外の業種が停滞しているためと思われる。
125	悪い	サ業（対事業所）	福岡地区	コロナ禍におけるテレワーク推進でルート営業自体が厳しい環境下に置かれたため。
146	非常に悪い	製造業（生産財）	筑豊地区	得意先（主にメーカー）の業績が良くないから、製造ラインの更新をしていない。
177	非常に悪い	サ業（対個人）	北九州地区	コロナの影響で営業活動ができません。それと関連工事もストップです。

【業種・従業員規模・地域別の特徴】

○ 業種別の動向

業種別の動向では全体的に改善している業種が目立ちますが、製造業（生産財）と建設業（建設）では前回よりもさらに悪化しています。

第114回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		293(42)	295(46)	293(44)	292(41)	290(41)		
全体	297	-36.9(22.5)	-44.1(15.8)	-42(13.8)	-32.2(28.4)	-14.5(7.6)	0.3	
業種	製造業（生産財）	23	-39.1(-20.9)	-39.1(-16.4)	-47.8(-25.1)	-43.5(2)	-26.1(-16.6)	4.3
	製造業（消費財）	24	-65.2(12.1)	-70.8(6.4)	-60.9(17.4)	-60.9(13)	-12.5(31)	4.2
	建設業（建築）	27	-44.4(-7.6)	-55.6(-5.6)	-48.1(-14.8)	-22.2(35.7)	-18.5(9.3)	3.7
	建設業（土木）	11	0(40)	-20(40)	-30(30)	-40(20)	0(40)	9.1
	建設業（設備）	19	0(20)	0(20)	-5.3(-5.3)	10.5(20.5)	0(30)	5.3
	商業・流通業	40	-55(21.9)	-62.5(17)	-48.7(17.9)	-35(41.9)	-35(9.7)	2.5
	サービス業（対事業所）	90	-24.7(36.9)	-32.2(21.9)	-34.4(12.9)	-26.7(24)	3.5(26.8)	1.1
	サービス業（对个人）	63	-45.2(23.7)	-53.2(17.3)	-50(28)	-40(31.7)	-27.9(-29.5)	1.6

○ 従業員規模別の動向

51名～100名規模の企業では売上高DI及び利益DIが悪化しています。21名～30名規模の企業では次期予想DIが悪転しています。

第114回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		293(42)	295(46)	293(44)	292(41)	290(41)		
全体	297	-36.9(22.5)	-44.1(15.8)	-42(13.8)	-32.2(28.4)	-14.5(7.6)	0.3	
従業員規模	0名～5名	101	-24(35.1)	-31(23.7)	-25.3(25.3)	-22(29.2)	-12.2(6.6)	1.0
	6名～10名	49	-49(9.2)	-57.1(11.7)	-49(14.7)	-52.1(19)	-25(6.8)	2.0
	11名～20名	55	-45.5(25.4)	-54.5(17.2)	-52.7(16)	-48.1(16.4)	-13.2(16)	1.8
	21名～30名	27	-38.5(22.6)	-48.1(13)	-48.1(13)	-14.8(63)	-7.4(-24.1)	3.7
	31名～50名	28	-25(10)	-39.3(5.7)	-50(-15)	-18.5(31.5)	-11.1(18.9)	3.6
	51名～100名	19	-47.4(0.3)	-47.4(-4.5)	-57.9(-19.8)	-31.6(20.8)	-21.1(2.8)	5.3
	100名以上	18	-56.3(20.7)	-47.1(22.2)	-43.8(25.5)	-35.3(41.6)	-11.1(12)	5.6

○ 本社地区別の動向

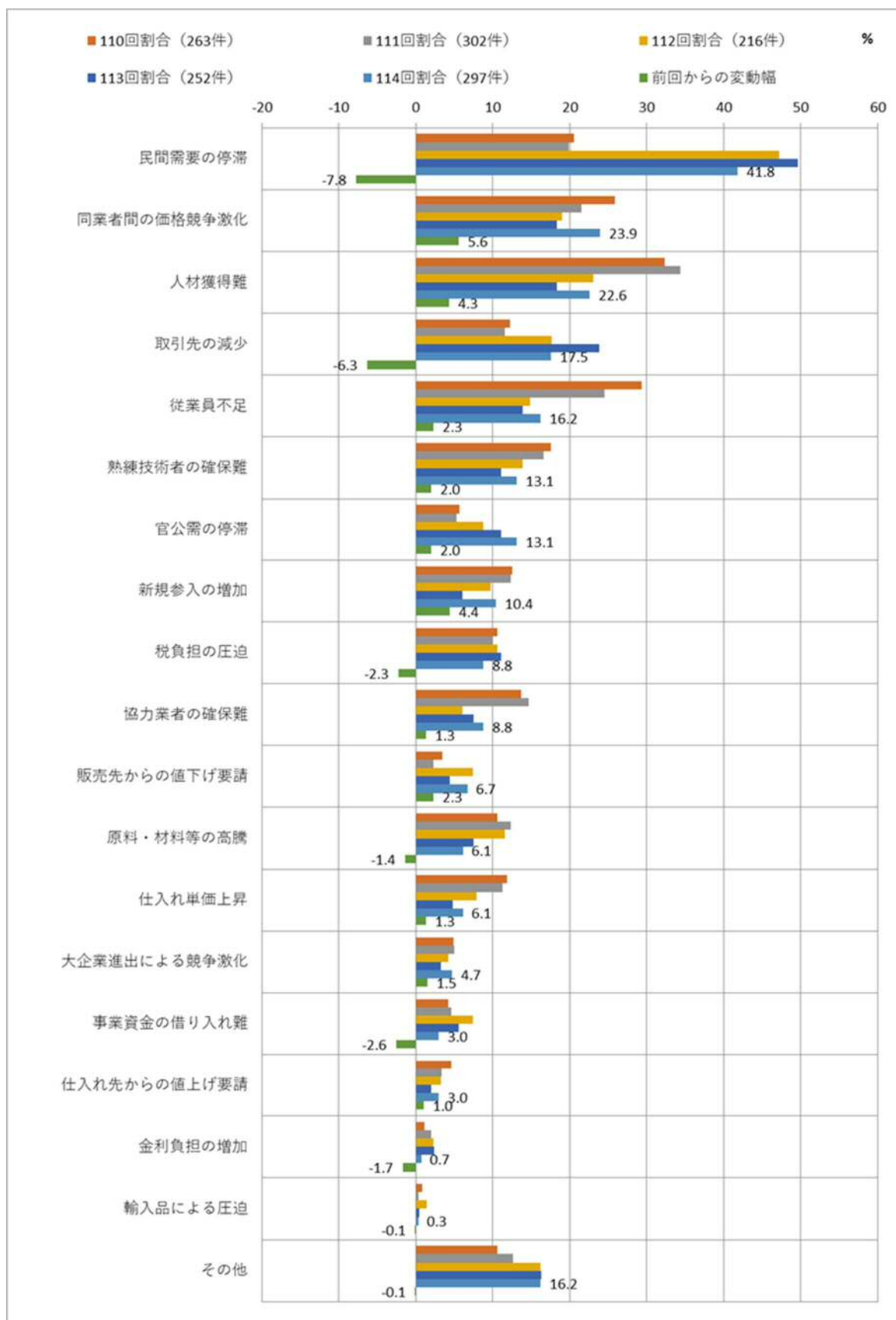
悪化緩和が目立ちますが県南地区は利益DIが悪化し、次期予想DIは悪転しています。

第114回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		293(42)	295(46)	293(44)	292(41)	290(41)		
全体	297	-36.9(22.5)	-44.1(15.8)	-42(13.8)	-32.2(28.4)	-14.5(7.6)	0.3	
本社地区	福岡地区	189	-35.7(27.4)	-44.9(19.4)	-42.7(15)	-32.3(28.9)	-13.9(9.8)	0.5
	北九州地区	44	-50(6.5)	-65.9(-5)	-52.3(1.9)	-40.5(26.2)	-20(10.4)	2.3
	筑豊地区	37	-21.6(36.3)	-18.9(36.3)	-21.6(38.9)	-27(44)	-16.2(17.1)	2.7
	県南地区	22	-40.9(5.5)	-36.4(8.1)	-54.5(-10.1)	-31.8(3.9)	-14.3(-22)	4.5
	福岡県外	5	-60(-20)	-40(-15)	-20(5)	0(75)	20(20)	20.0

【経営上の問題点】

● “民間需要の停滞”は減少し“人材獲得難”が上昇

前回調査では新型コロナウイルスによる活動自粛の影響で「民間需要の停滞」「取引先の減少」「官公需の停滞」が上昇しましたが、今回は「価格競争激化」「人材獲得難」が上昇しました。

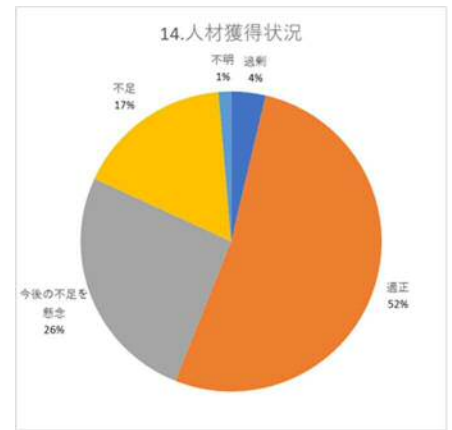


経営上の問題点を業種別に見ると、製造業では「原料・材料等の高騰」が共通の問題点として挙げられています。建設業では「従業員不足」や「協力業者の確保難」が挙がっています。経済が動き始め、再び人材に関する問題が上昇しています。

業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・ 流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
回答件数	297	23	24	27	11	19	40	90	63
民間需要の停滞	41.8	52.2	66.7	51.9	18.2	31.6	47.5	35.6	36.5
同業者間の価格競争激化	23.9	30.4	33.3	33.3	9.1	15.8	32.5	20.0	19.0
人材獲得難	22.6	26.1	12.5	18.5	27.3	26.3	22.5	22.2	25.4
取引先の減少	17.5	13.0	25.0	14.8	0.0	0.0	27.5	18.9	17.5
従業員不足	16.2	17.4	0.0	33.3	45.5	21.1	10.0	15.6	12.7
官公需の停滞	13.1	17.4	12.5	7.4	45.5	31.6	2.5	13.3	9.5
熟練技術者の確保難	13.1	17.4	12.5	11.1	36.4	15.8	10.0	15.6	6.3
新規参入の増加	10.4	4.3	8.3	3.7	0.0	5.3	7.5	11.1	20.6
税負担の圧迫	8.8	17.4	0.0	7.4	0.0	10.5	5.0	10.0	11.1
協力業者の確保難	8.8	8.7	0.0	14.8	18.2	26.3	2.5	11.1	3.2
販売先からの値下げ要請	6.7	4.3	16.7	7.4	0.0	5.3	5.0	11.1	0.0
原料・材料等の高騰	6.1	17.4	16.7	7.4	27.3	5.3	0.0	2.2	3.2
仕入れ単価上昇	6.1	8.7	4.2	11.1	0.0	5.3	12.5	5.6	1.6
大企業進出による競争激化	4.7	0.0	4.2	7.4	0.0	5.3	7.5	3.3	6.3
事業資金の借り入れ難	3.0	4.3	8.3	3.7	0.0	0.0	0.0	1.1	6.3
仕入れ先からの値上げ要請	3.0	0.0	0.0	14.8	0.0	5.3	2.5	2.2	1.6
金利負担の増加	0.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
輸入品による圧迫	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
その他	16.2	0.0	16.7	7.4	9.1	10.5	22.5	18.9	20.6
各業種別回答数に対するパーセント									
色付きセルは業種別の上位五項目									

【人材獲得状況について】

14.人材獲得状況		(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	過剰	11	3.7	3.7
2	適正	156	53.1	52.3
3	今後の不足を懸念	77	26.2	25.8
4	不足	50	17	16.8
	不明	4		1.3
	サンプル数 (%ベース)	298	294	100

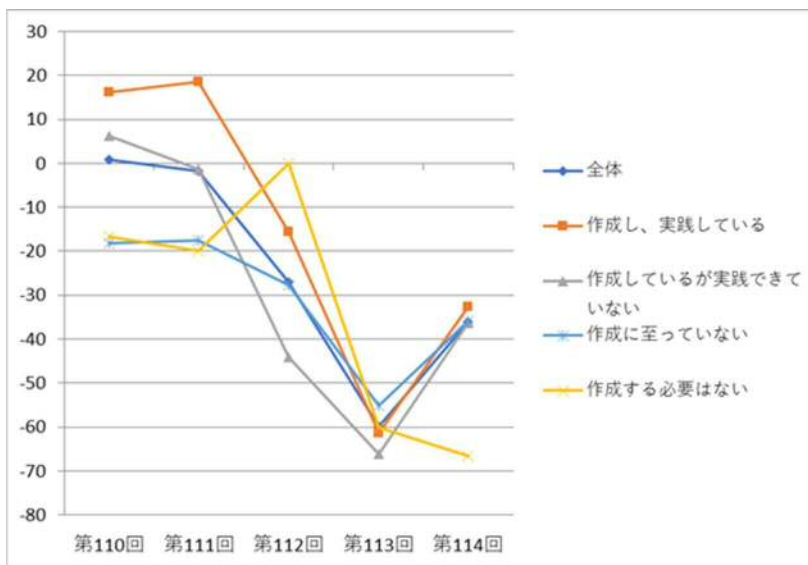


<「今後の不足を懸念」と回答した理由>

No.	5.今期景況判断	1.業種	3.本社所在地	9.そのような結果の理由
2	悪い	製造業（生産財）	福岡地区	高齢化、若手の不足
7	よい	製造業（消費財）	福岡地区	新事業も取り組みたいと考えている為
15	普通	建設業（建築）	福岡地区	熟練技術者の高齢化。若手の採用が思うようにいかず、育成が進まない。
23	悪い	商業・流通業	福岡地区	営業経験者を募集するも、営業希望者が皆無
35	悪い	サ業（対事業所）	県南地区	募集しても応募がない
42	非常に悪い	サ業（対個人）	県南地区	予約激減にて、シフトの確保ができておらず、他社にて勤務を始めているため。
46	悪い	サ業（対個人）	筑豊ちく	外商の仕事ゆえに、コロナ禍で応募者が少ない

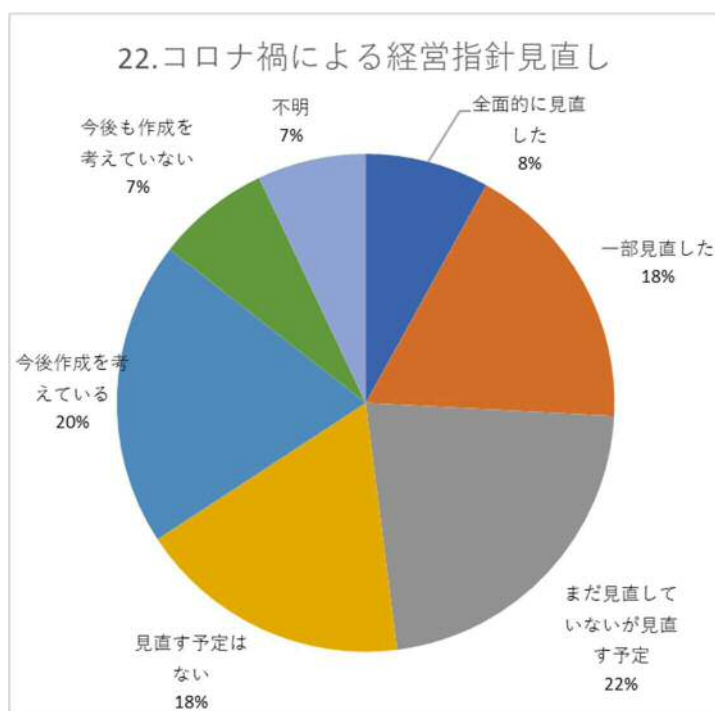
【経営指針の作成と実践】

経営指針書の作成と実践		第113回		第114回		増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	85	34.4	93	31.7	-2.7
2	作成しているが実践なし	54	21.9	71	24.2	2.3
3	作成に至っていない	98	39.7	117	39.9	0.2
4	作成する必要はない	10	4	12	4.1	0.1
	不明	7	0	5	0	
	サンプル数 (%ベース)	254	247	298	293	46



第114回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		290(46)	292(49)	290(48)	289(45)	287(44)		
全体	290	-36.2(23.6)	-43.5(16.6)	-41.4(14.8)	-31.8(29.2)	-14.6(8)	0.3	
指針書別	作成し、実践している	92	-32.6(28.8)	-38(25.1)	-37.8(20.6)	-25(34.5)	-18.5(-3)	1.1
	作成しているが実践でき	69	-36.2(29.8)	-45.1(22.9)	-46.5(18.3)	-31.9(44)	-10.1(36)	1.4
	作成に至っていない	117	-35.9(19.2)	-45.3(8.9)	-39.3(11.7)	-37.1(18.1)	-14(3.5)	0.9
	作成する必要はない	12	-66.7(-6.7)	-58.3(-8.3)	-58.3(-20.8)	-33.3(16.7)	-16.7(-6.7)	8.3

22.コロナ禍による経営指針見直し		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	全面的に見直した	24	8.7	8.1
2	一部見直した	53	19.1	17.8
3	まだ見直していないが見直す予定	66	23.8	22.1
4	見直す予定はない	53	19.1	17.8
5	今後作成を考えている	59	21.3	19.8
6	今後も作成を考えていない	22	7.9	7.4
	不明	21		7
	サンプル数 (% [^] -ス)	298	277	100



経営指針書の作成と実践状況を見ると、「作成し実践している」と回答した企業の割合は減少していますが、「作成する必要はない」と回答した企業の景況感はさらに悪化しています。コロナを受けての経営指針書見直し調査では、「見直した」「見直す予定」と回答した企業は過半数になりました。また「今後作成を考えている」と回答した企業が59件ありました。コロナ禍で不安定な経済状況が長引くことが予想されます。自社の強みを見つめなおし、新常態への対応が必要となります。

～部長談話～

コロナにとらわれず未来を見据えた経営を！